

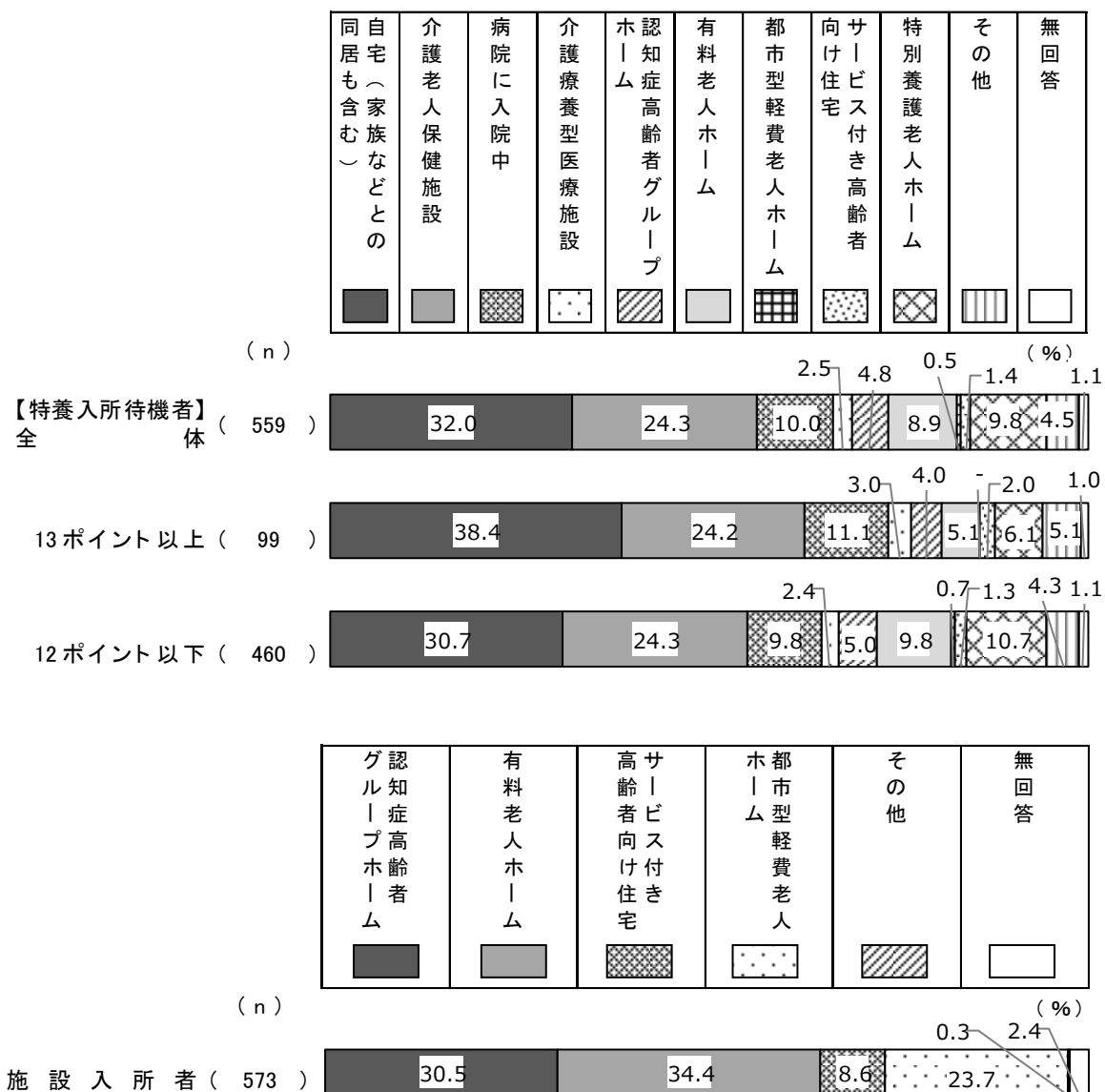
10 特別養護老人ホーム入所申込みの状況

(1) 現在の生活場所

○特養入所待機者では、「自宅（家族などとの同居も含む）」が32.0%で最も高く、「介護老人保健施設」が24.3%と続いている。

○施設入所者では、「有料老人ホーム」が34.4%で最も高く、「認知症高齢者グループホーム」が30.5%、 「都市型軽費老人ホーム」が23.7%と続いている。

■現在の生活場所

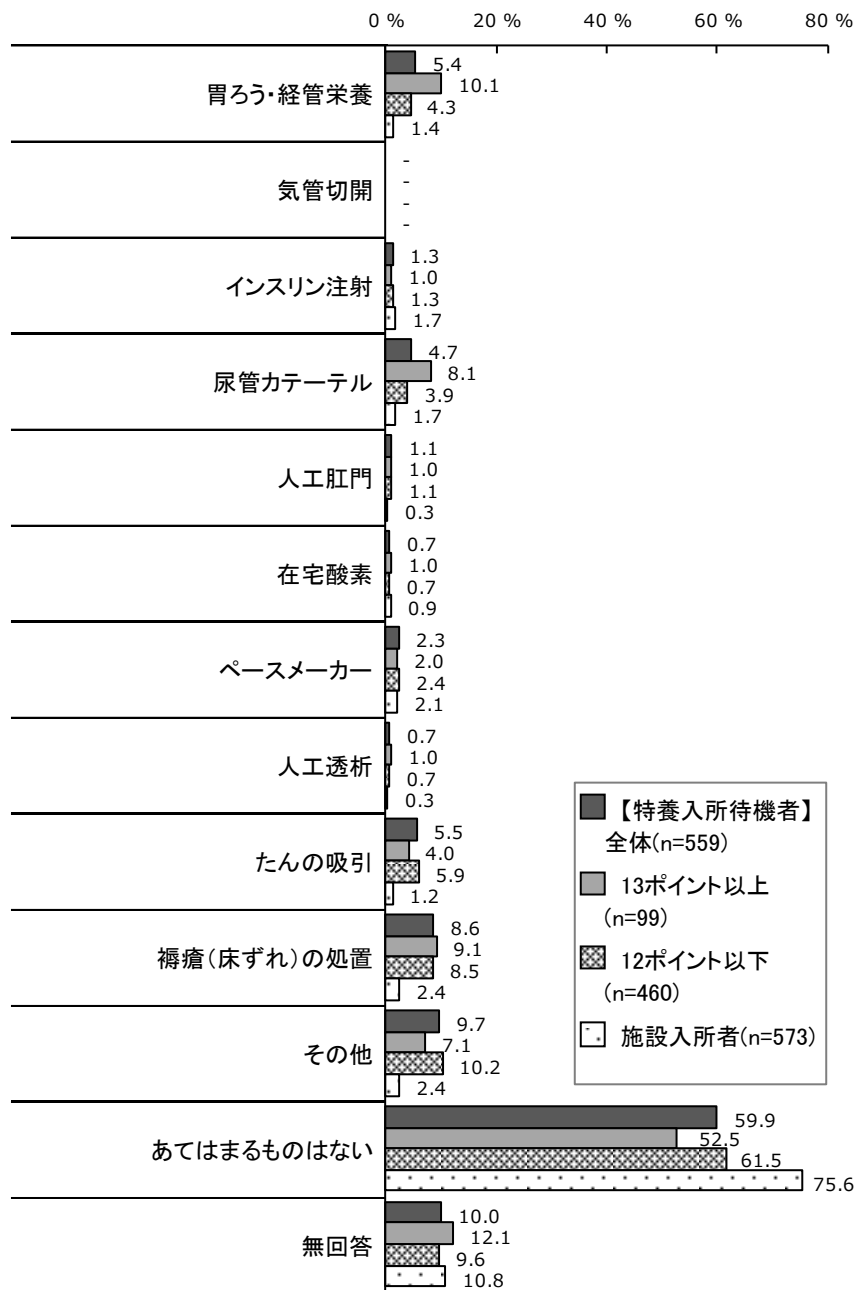


(2) 医療処置の状況

○医療処置の状況で「あてはまるものはない」が最も高く、特養入所待機者が約6割、施設入所者が7割半ばとなっている。

○医療処置が必要な場合は、「褥瘡(床ずれ)の処置」(特養入所待機者8.6%、施設入所者2.4%)、「たんの吸引」(特養入所待機者5.5%、施設入所者1.2%)、「胃ろう・経管栄養」(特養入所待機者5.4%、施設入所者1.4%)が上位に挙がっている。

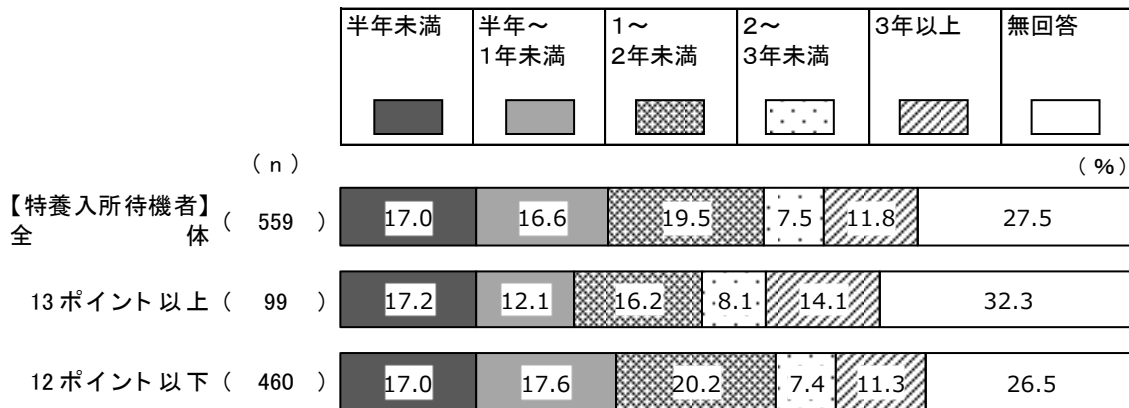
■医療処置の状況（複数回答）



(3) 特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間

○最初の特別養護老人ホームへの入所申込みからの経過期間は、“1年未満”（「半年未満」と「半年～1年未満」の合計）が3割超となっている。

■特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間



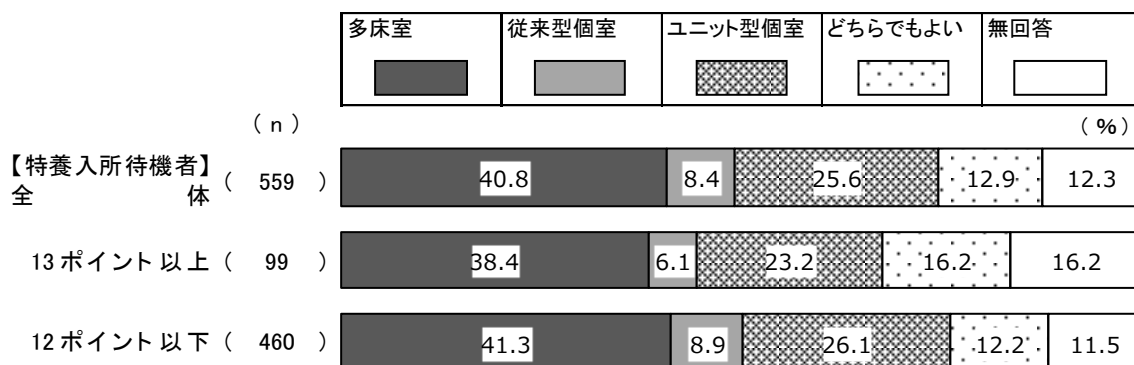
※ 起算点は令和元年12月

(4) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

① 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

○「多床室」が最も高く40.8%、次いで「ユニット型個室」が25.6%となっている。

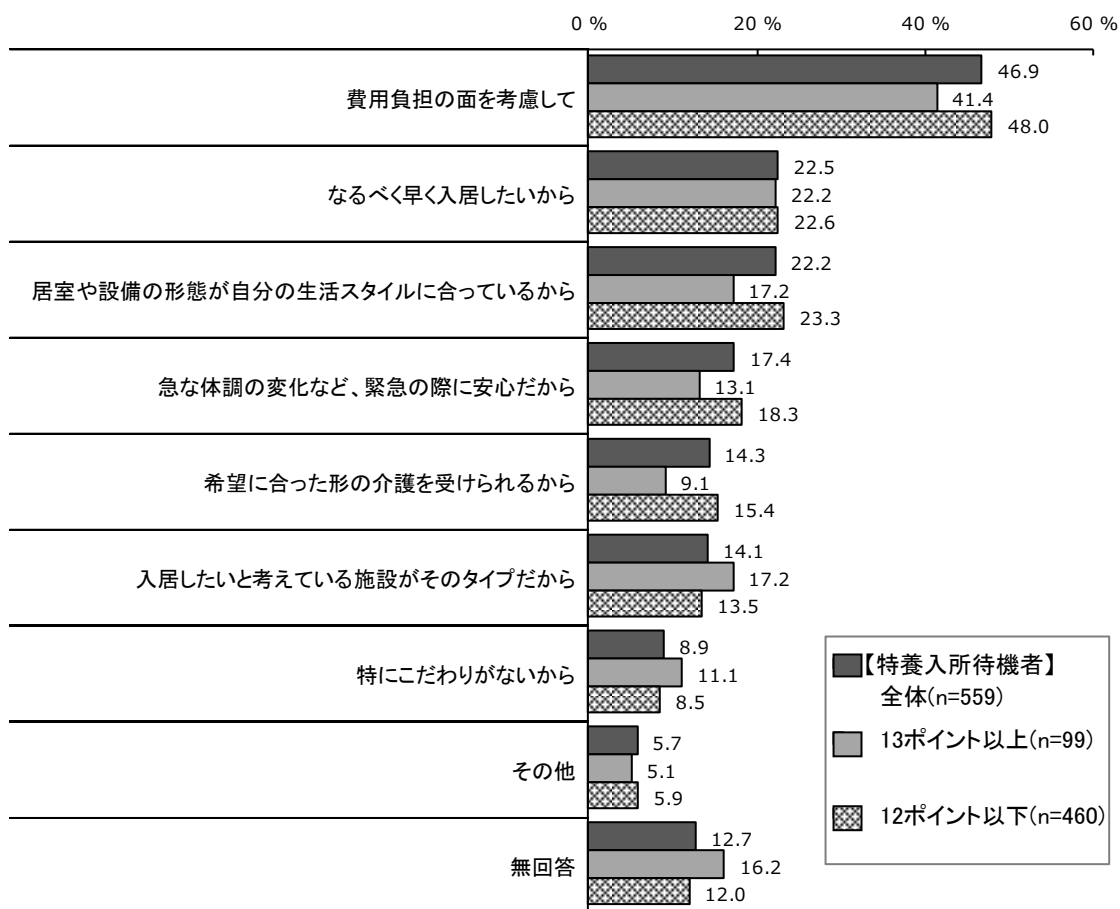
■入所したい特別養護老人ホームのタイプ



② 入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由

- 「費用負担の面を考慮して」が46.9%で最も高く、「なるべく早く入居したいから」(22.5%)、「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(22.2%)と続いている。

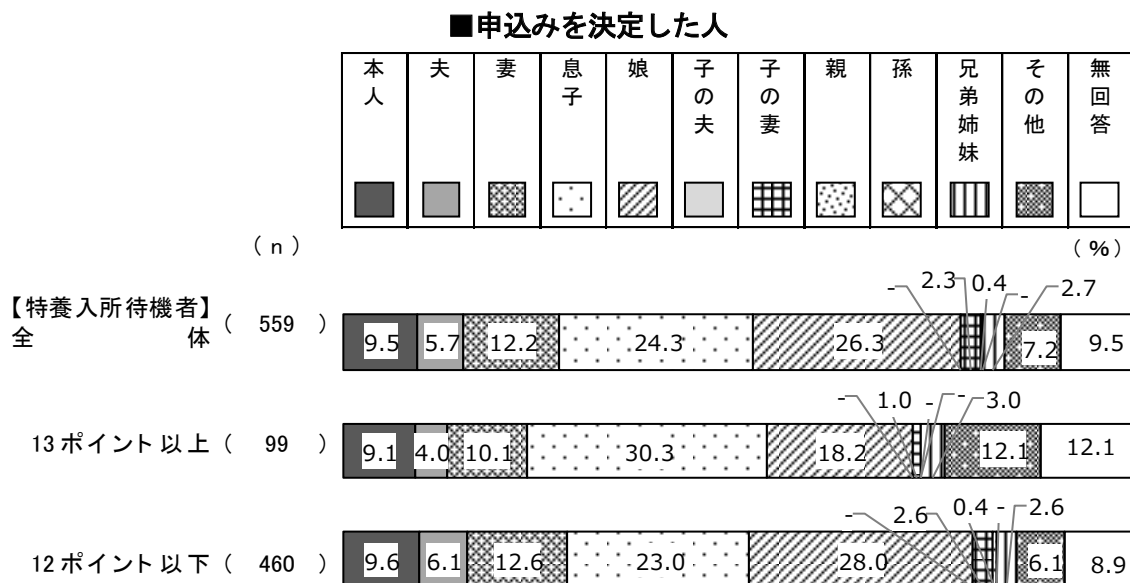
■入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由(複数回答)



(5) 特別養護老人ホームの申込み状況

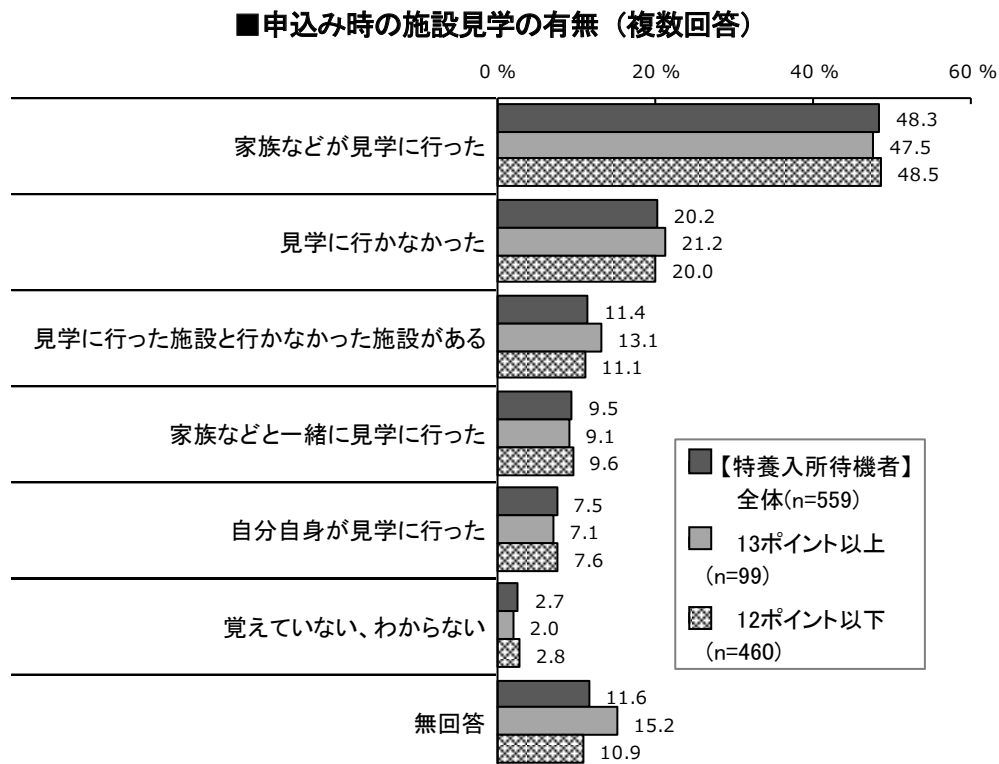
① 申込みを決定した人

- 「息子」「娘」がそれぞれ2割半ばで、両者を合わせた“子ども”が半数以上となっている。
- 「本人」は、約1割となっている。



② 申込み時の施設見学の有無

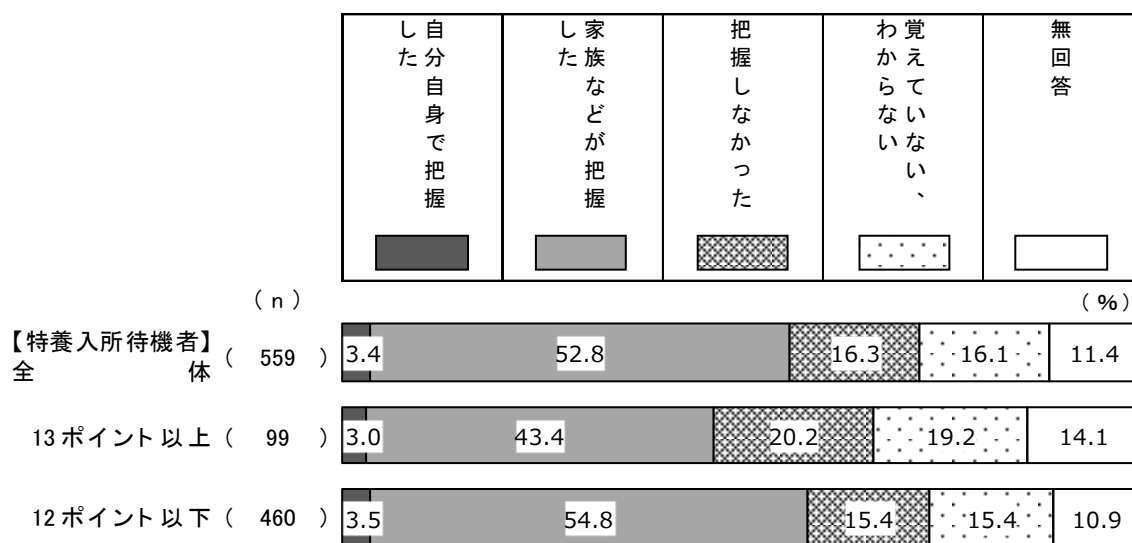
- 「家族などが見学に行った」が48.3%で最も高く、「見学に行かなかった」(20.2%)、「見学に行った施設と行かなかった施設がある」(11.4%)と続いている。



③ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握の有無

- 「家族などが把握した」が最も高く52.8%となっている。
- 「把握しなかった」は1割半ばとなっている。

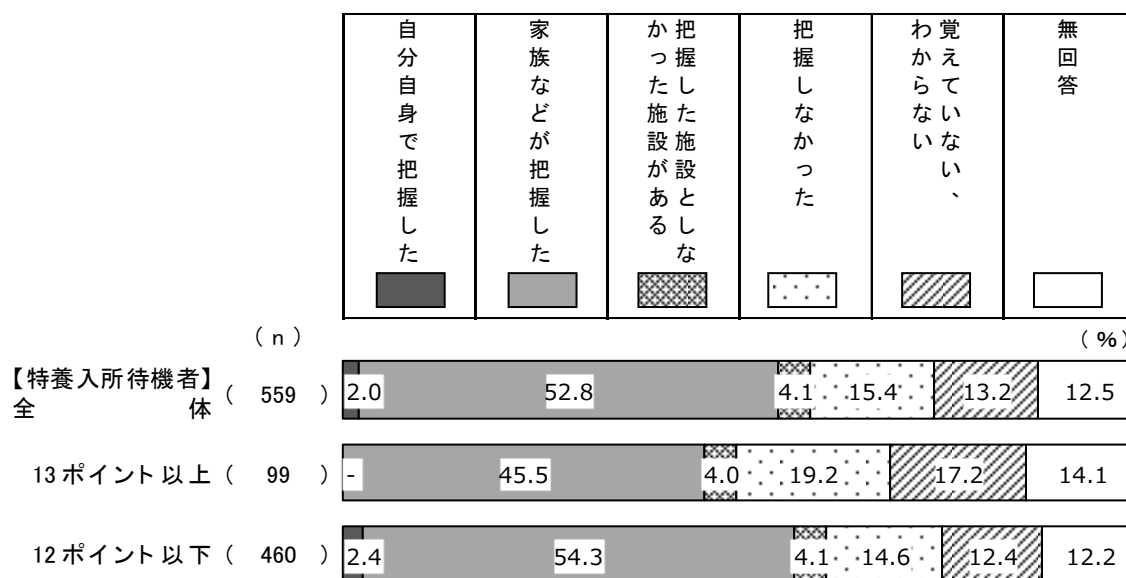
■ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握の有無



④ 医療行為への対応状況の把握の有無

- 「家族などが把握した」が最も高く52.8%となっている。
- 「把握しなかった」は1割半ばとなっている。

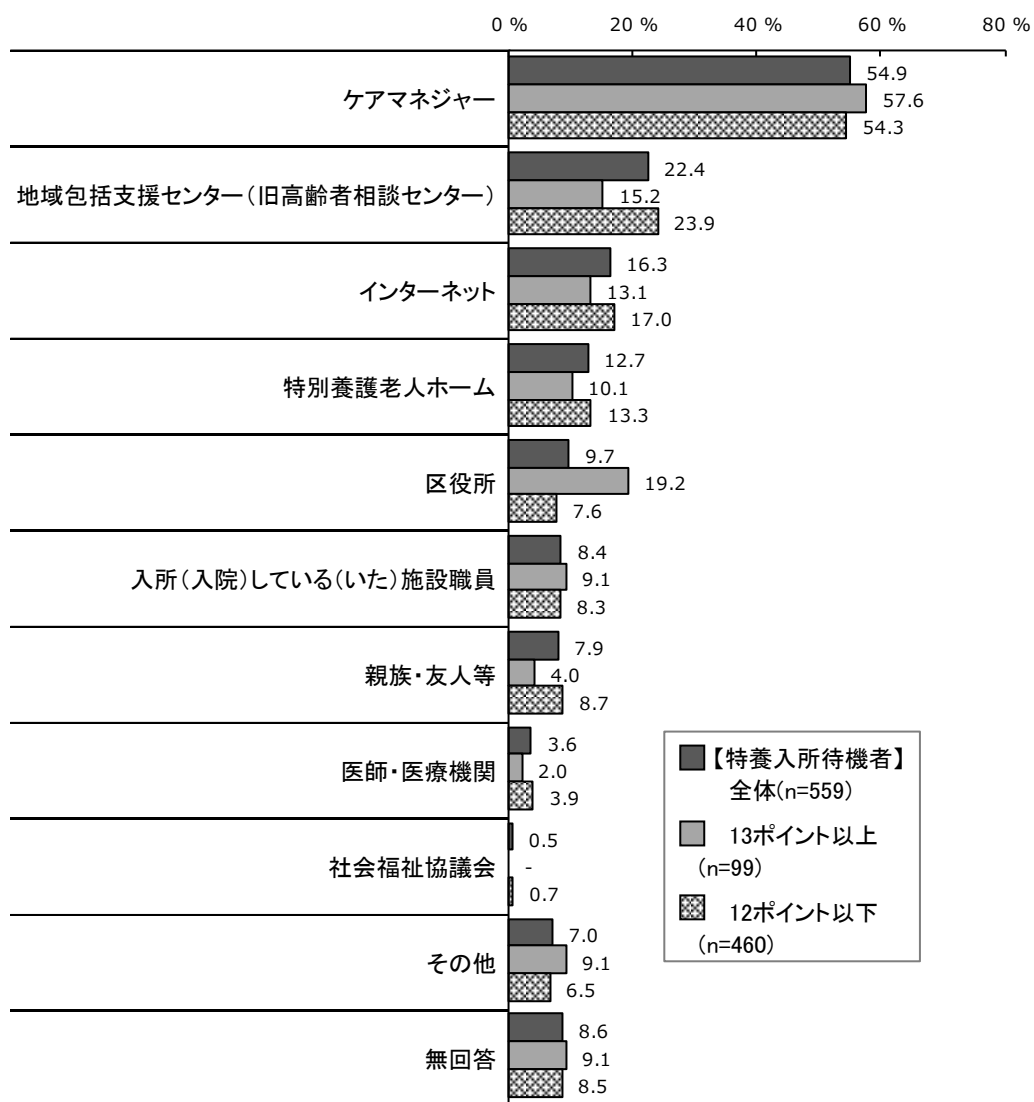
■ 医療行為への対応状況の把握の有無



⑤ 入所申込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路

○「ケアマネジャー」が54.9%で最も高く、「地域包括支援センター(旧高齢者相談センター)」(22.4%)、「インターネット」(16.3%)と続いている。

■入所申込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路(複数回答)

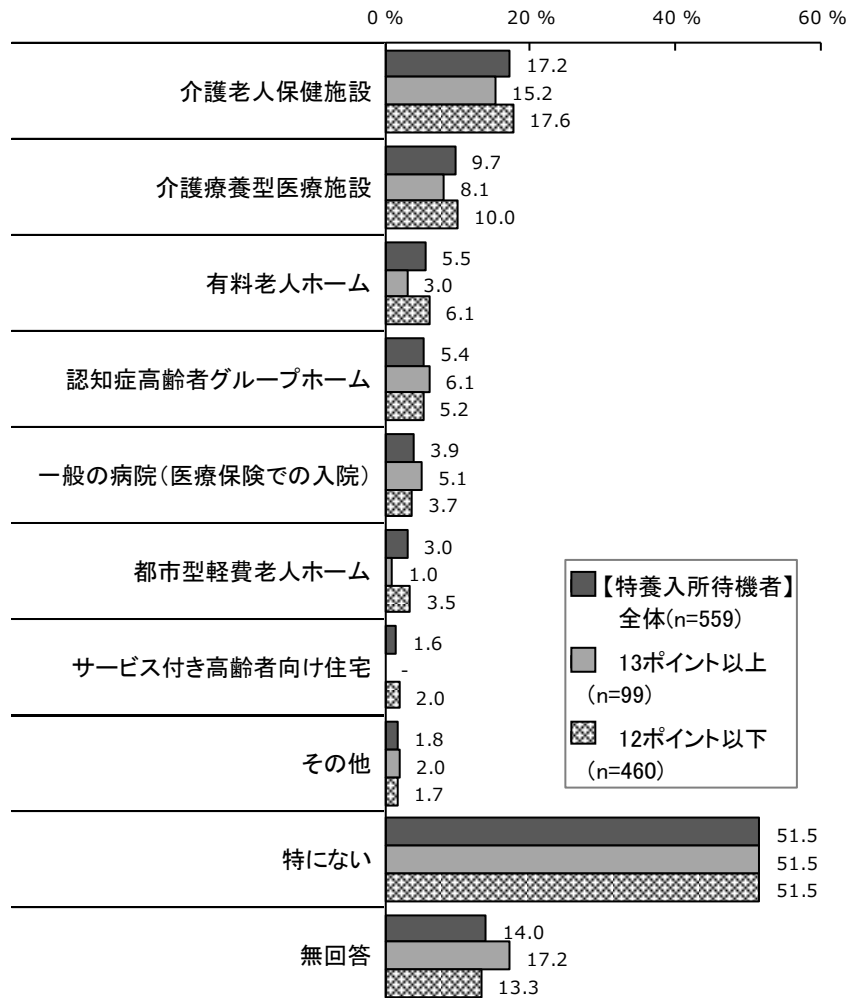


(6) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

① 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

○「特にない」が最も高く5割超となっている。申込み先としては、待機者全体では「介護老人保健施設」が17.2%、「介護療養型医療施設」が9.7%となっている。

■特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況（複数回答）

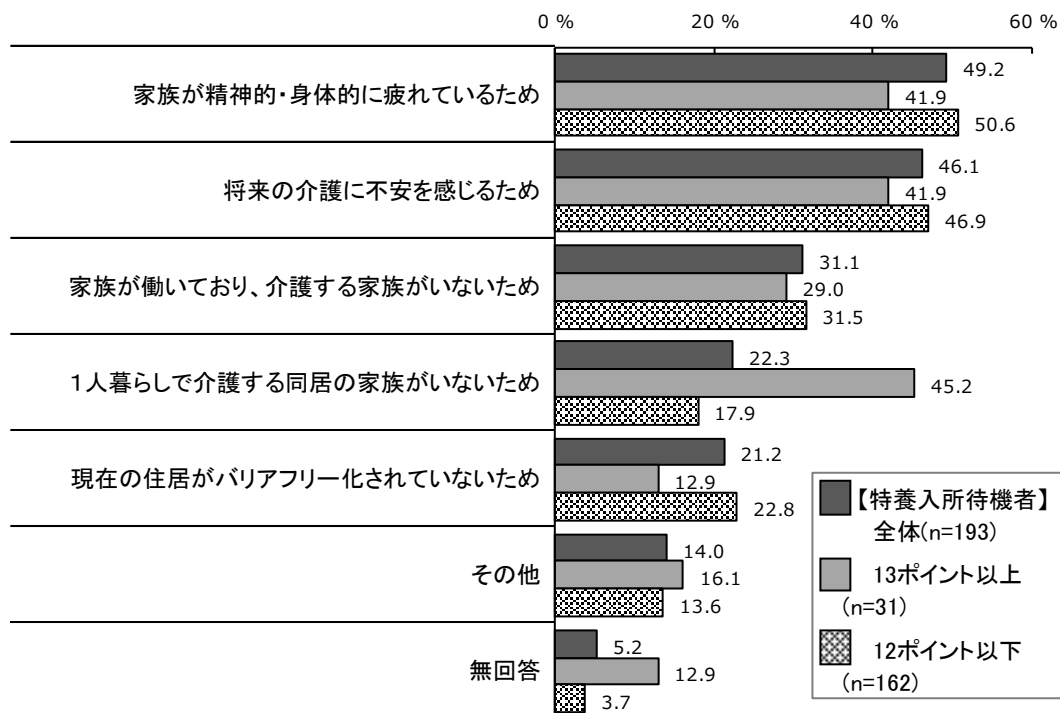


② 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由と特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

ア. 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で“特別養護老人ホーム以外に申込みをしている施設がある”と回答した人の特別養護老人ホーム以外の施設を利用したい理由は、「家族が精神的・身体的に疲れているため」(49.2%)、「将来の介護に不安を感じるため」(46.1%)が上位に挙げられている。

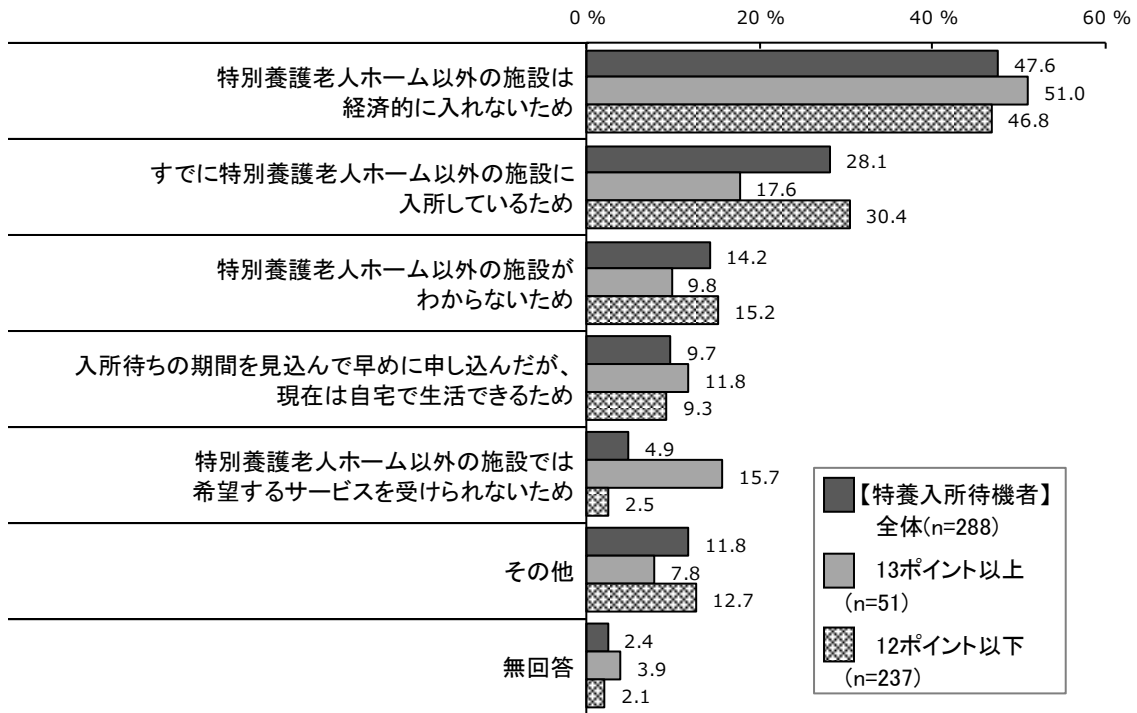
■特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由（複数回答）



イ. 特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で「特にない」と回答した人の特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」が47.6%で最も高く、「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(28.1%)、「特別養護老人ホーム以外の施設がわからないため」(14.2%)と続いている。

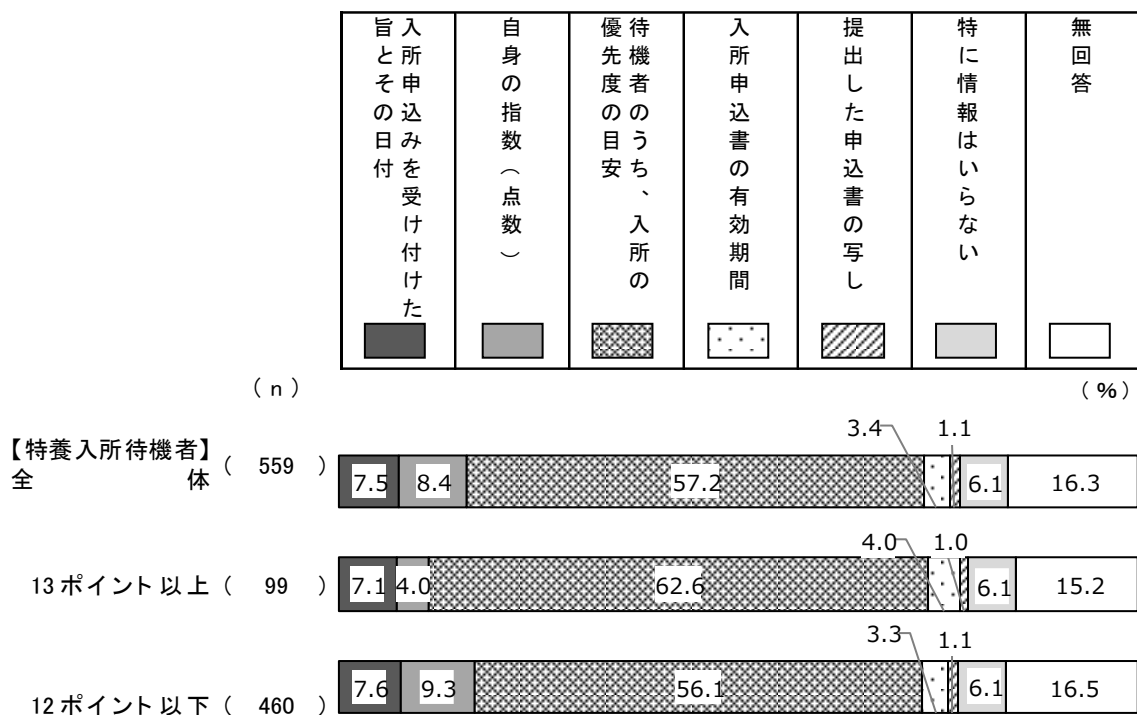
■特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由（複数回答）



(7) 入所申込み後に欲しい情報（連絡）

○「待機者のうち、入所の優先度の目安」が最も高く 57.2%となっている。

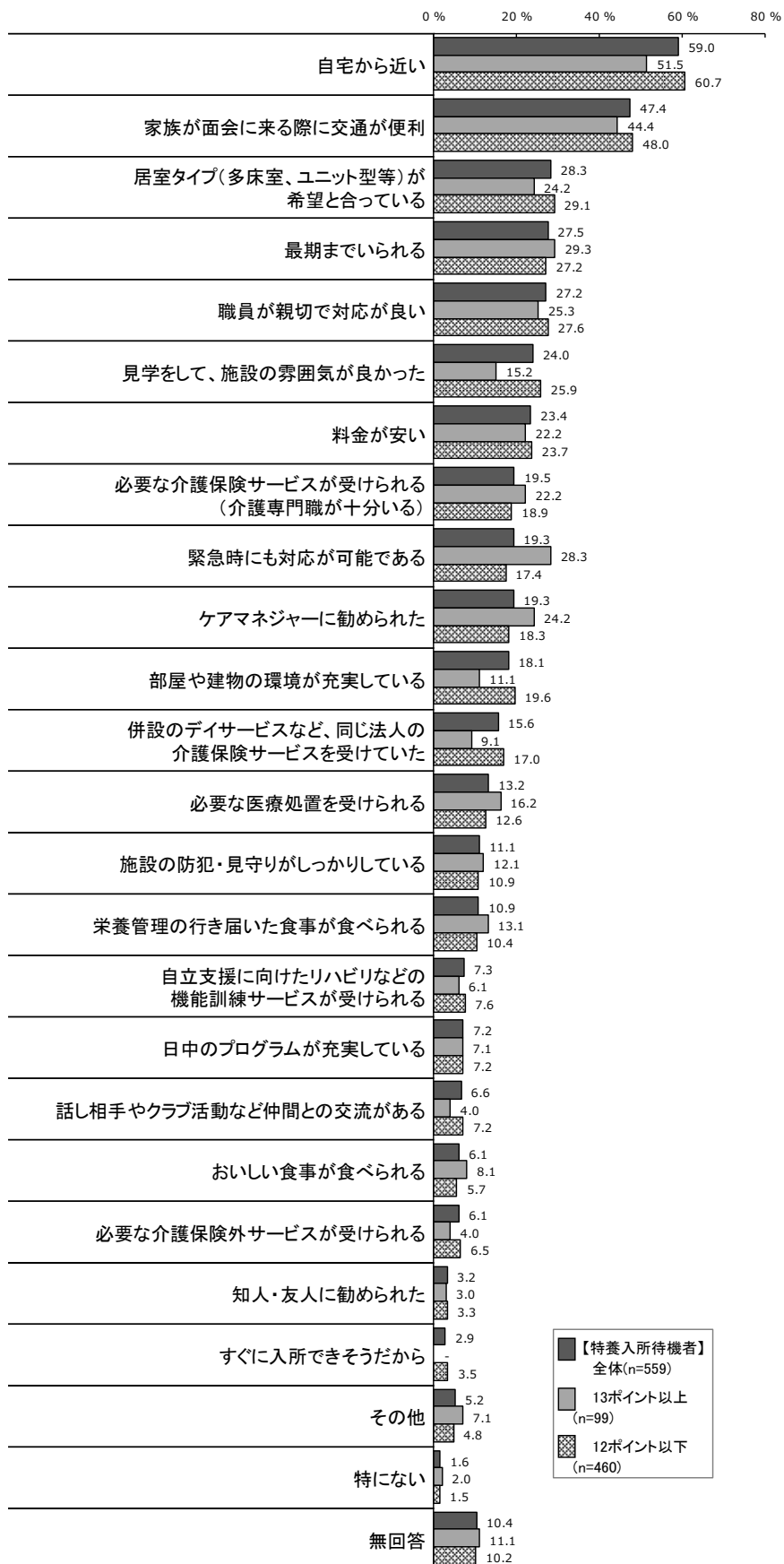
■入所申込み後に欲しい情報（連絡）



(8) 入所申込みをした特別養護老人ホームを選択した理由

○「自宅から近い」が59.0%で最も高く、「家族が面会に来る際に交通が便利」(47.4%)と続いている。

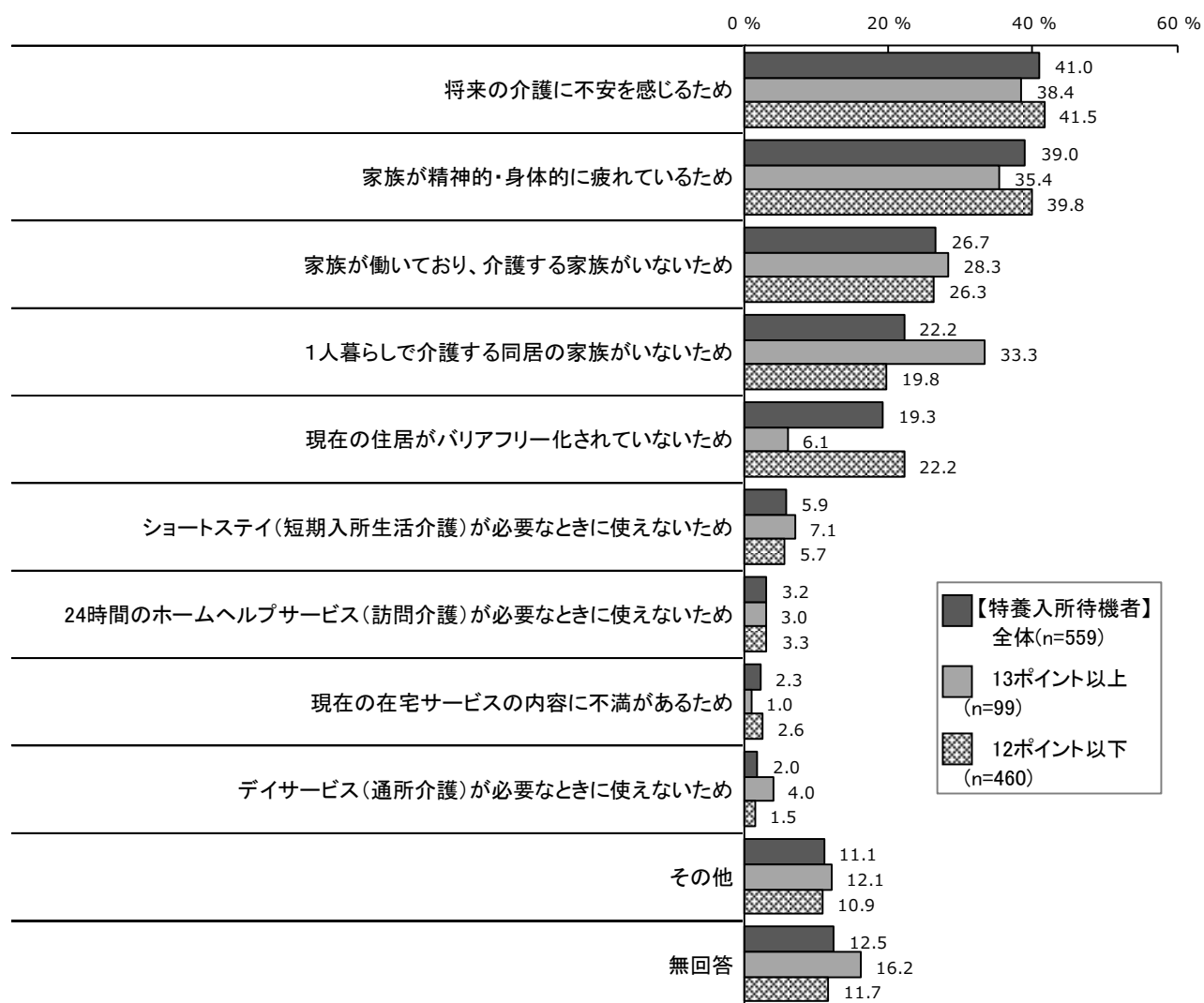
■入所申込みをした特別養護老人ホームを選択した理由(複数回答)



(9) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由

○「将来の介護に不安を感じるため」が41.0%で最も高く、「家族が精神的・身体的に疲れているため」(39.0%)と続いている。

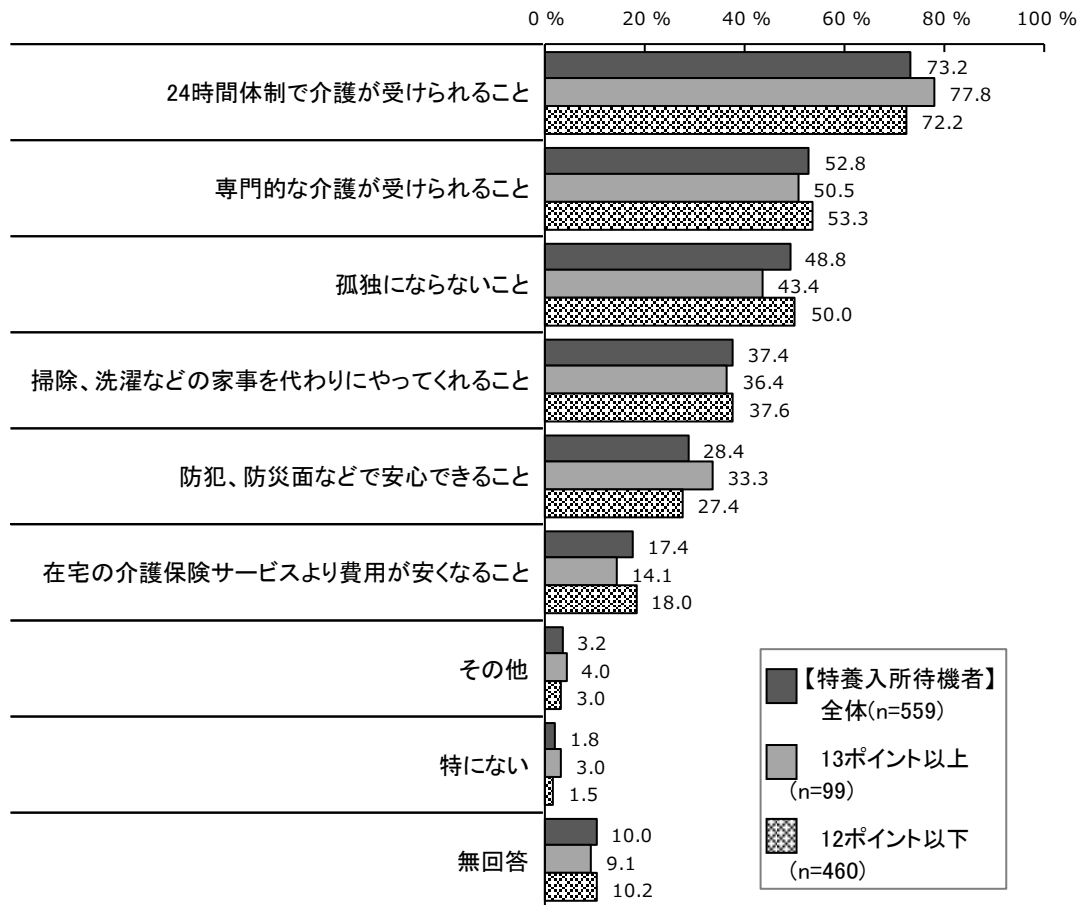
■特別養護老人ホームを申し込んだ理由(複数回答)



(10) 特別養護老人ホームに期待すること

- 「24時間体制で介護が受けられること」が73.2%で最も高く、「専門的な介護が受けられること」(52.8%)、「孤独にならないこと」(48.8%)と続いている。

■特別養護老人ホームに期待すること（複数回答）

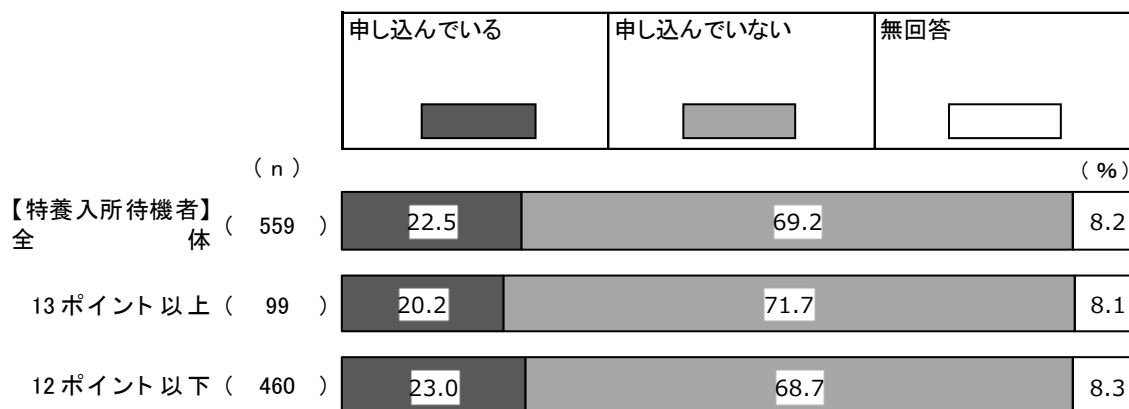


(11) 区外の特別養護老人ホームの入所申込み状況

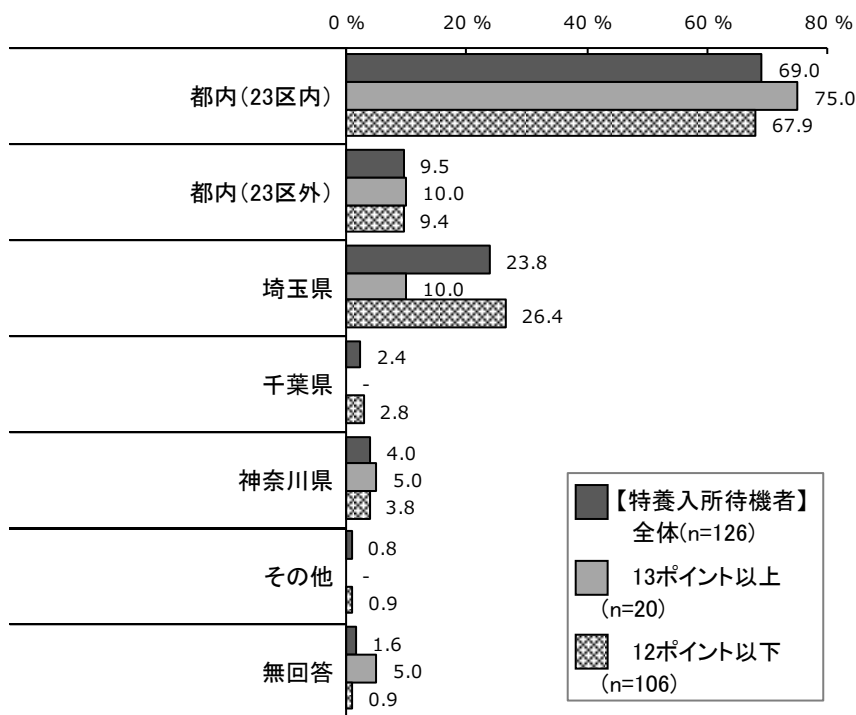
① 区外の特別養護老人ホームの入所申込みの状況

- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」人は 22.5%、「申し込んでいない」人は 69.2%となっている。
- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」と回答した人の入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所は、「都内（23区内）」が 69.0%で最も高く、次いで「埼玉県」が 23.8%となっている。

■区外の特別養護老人ホーム入所申込みの状況



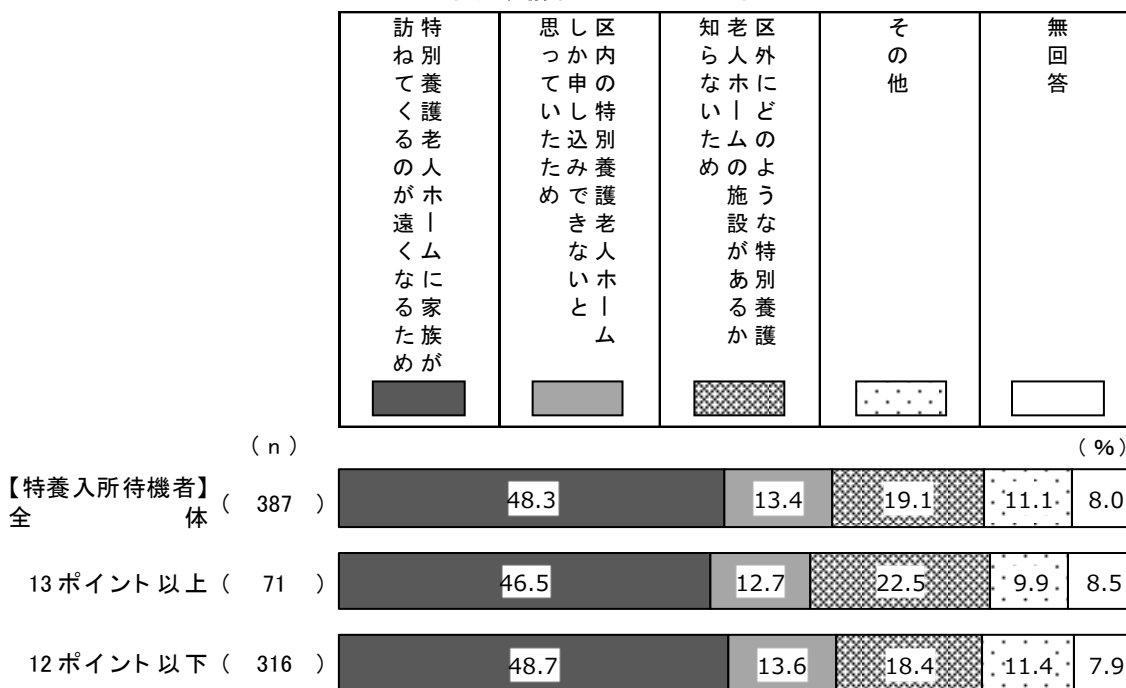
■申し込んでいる特別養護老人ホームの場所（複数回答）



② 区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由

○区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいない」と回答した人の申し込まない理由は、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」が48.3%で最も高い。「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」は19.1%となっている。

■区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由



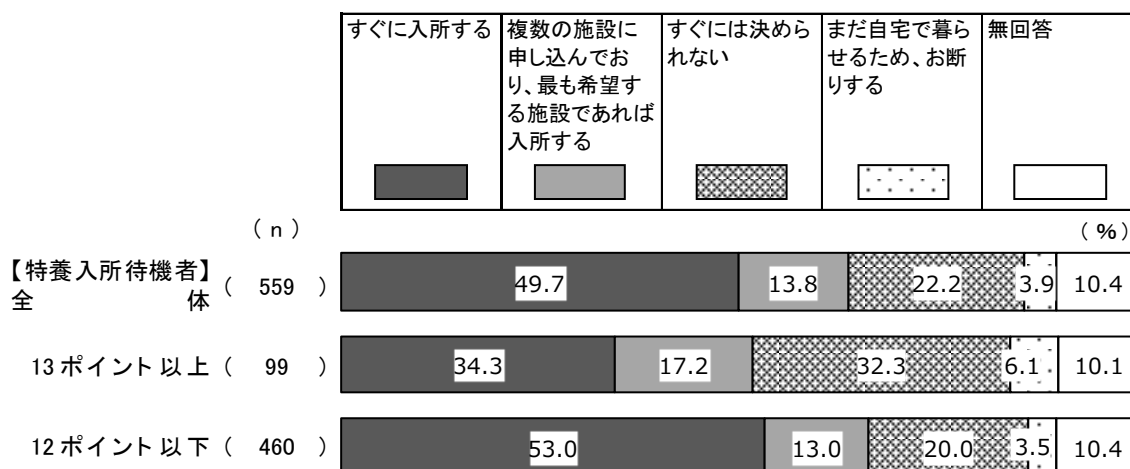
(12) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

① 連絡がきた場合の対応

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」が49.7%で最も高く、「複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する」(13.8%)とあわせ、入所に積極的な人が6割超となっている。

○「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」を合わせた“すぐに入所しない”は2割半ばとなっている。

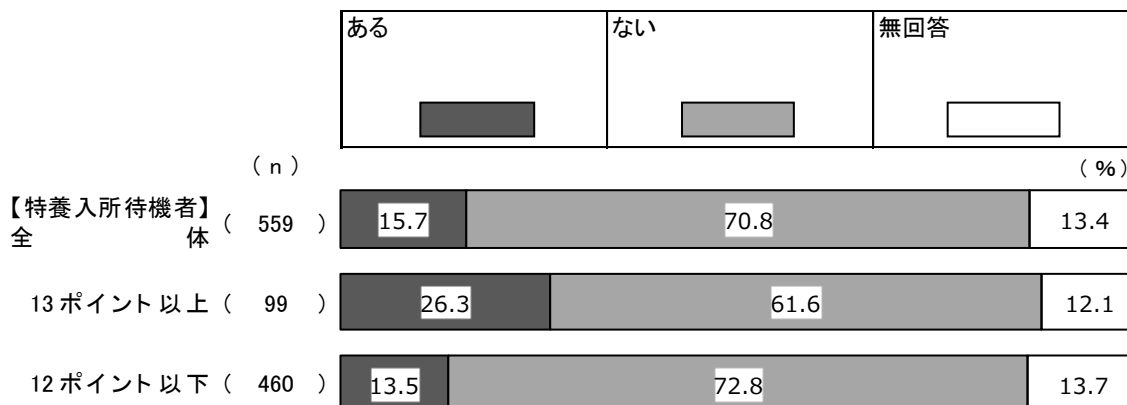
■連絡がきた場合の対応



② 入所案内の連絡を辞退した経験

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡があった際に断った経験が「ある」は15.7%、「ない」は70.8%となっている。

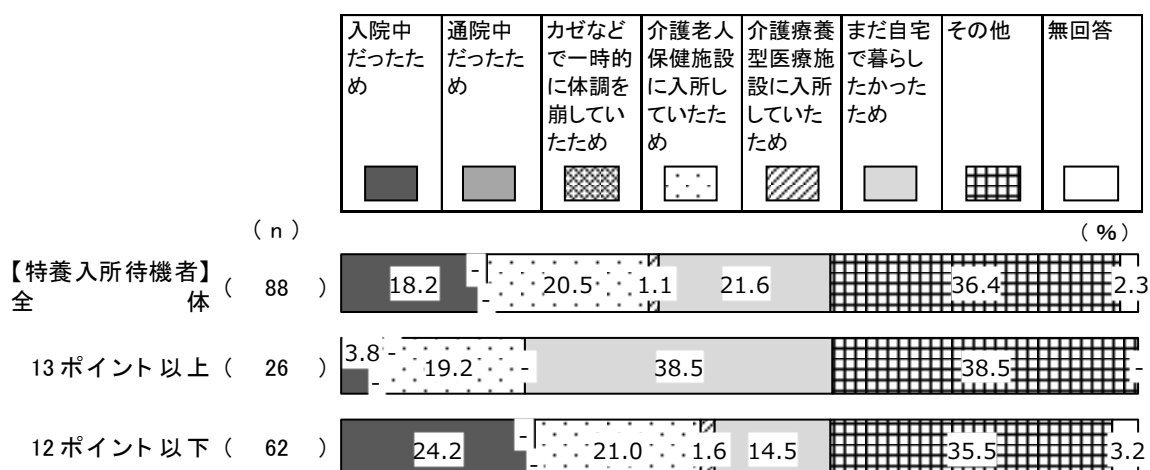
■入所案内の連絡を辞退した経験



③ 辞退した理由

○入所辞退の経験があると回答した人の辞退理由は、「まだ自宅で暮らしたかったため」が21.6%、「介護老人保健施設に入所していたため」が20.5%、「入院中だったため」が18.2%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値）。

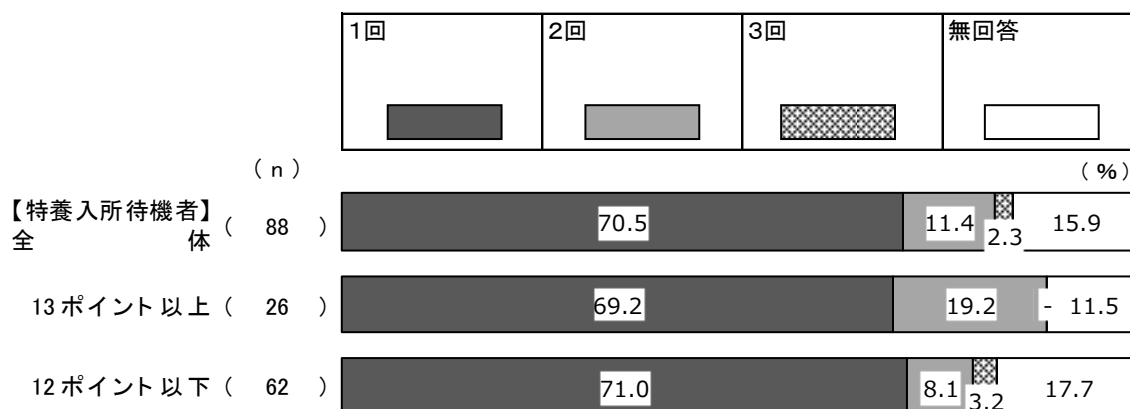
■辞退した理由



④ 辞退した回数

○入所辞退の経験があると回答した人の入所辞退の回数は、「1回」が70.5%、「2回」が11.4%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値）。

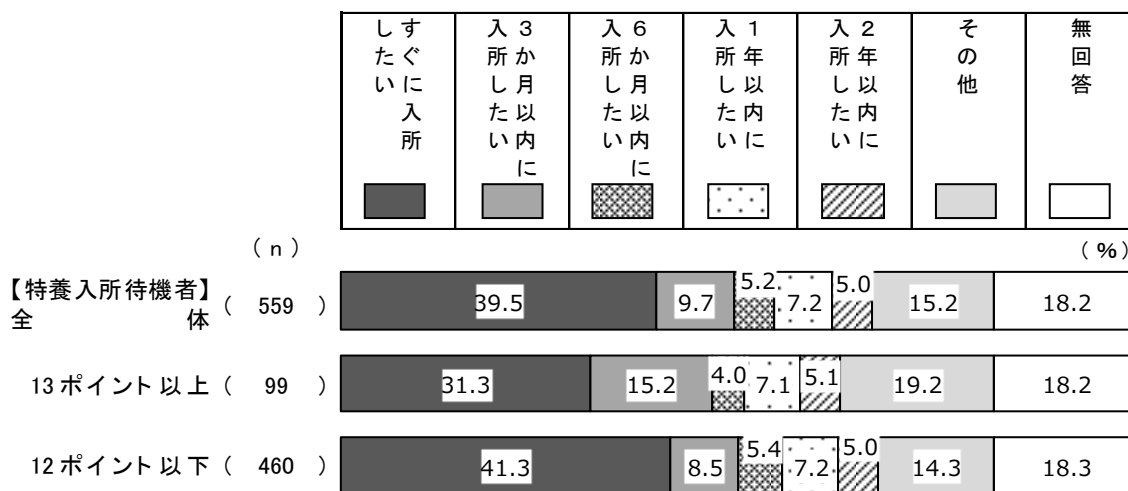
■辞退した回数



⑤ 入所の希望時期

○入所の希望時期は「すぐに入所したい」が39.5%で最も高い。

■入所の希望時期

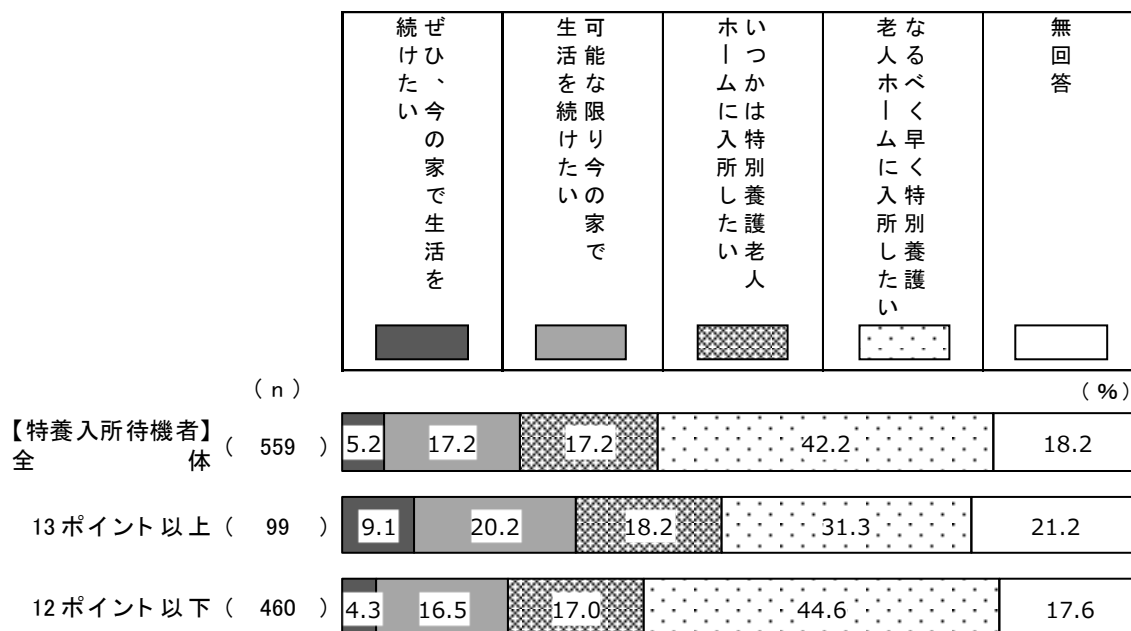


(13) サービス等の充実による在宅生活の継続希望

① 在宅生活の継続希望

○「ぜひ、今の家で生活を続けたい」「可能な限り今の家で生活を続けたい」「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」を合わせた“当分は在宅生活を継続する”は約4割で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」と同程度となっている。

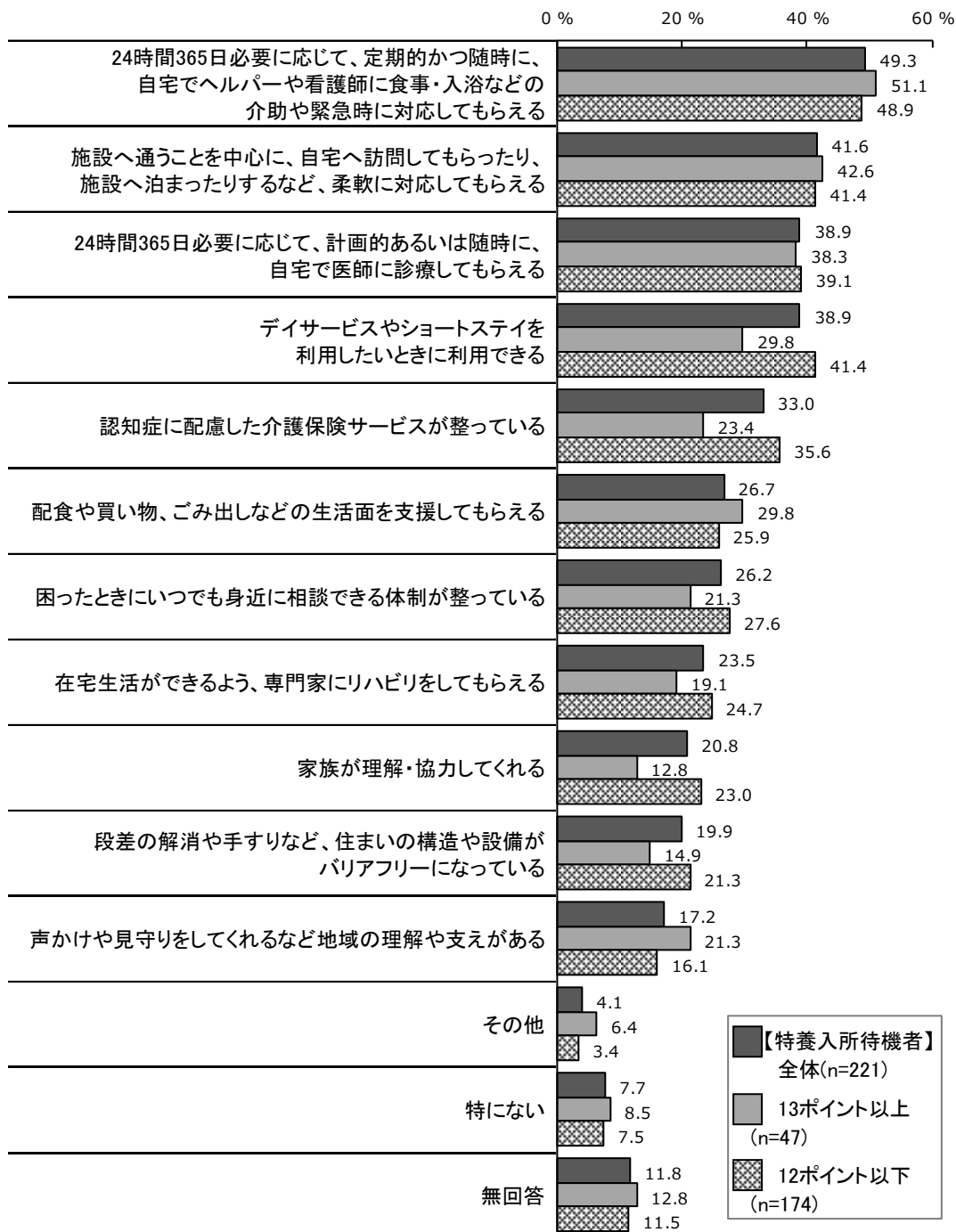
■在宅生活の継続希望



② 在宅生活を継続できる在宅サービス

- “当分は在宅生活を継続する”と回答した人の在宅生活を可能にすると思うサービスは、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」が49.3%で最も高く、「施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる」(41.6%)、「24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえる」(38.9%)、「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(38.9%)と続いている。

■在宅生活を継続できる在宅サービス（複数回答）

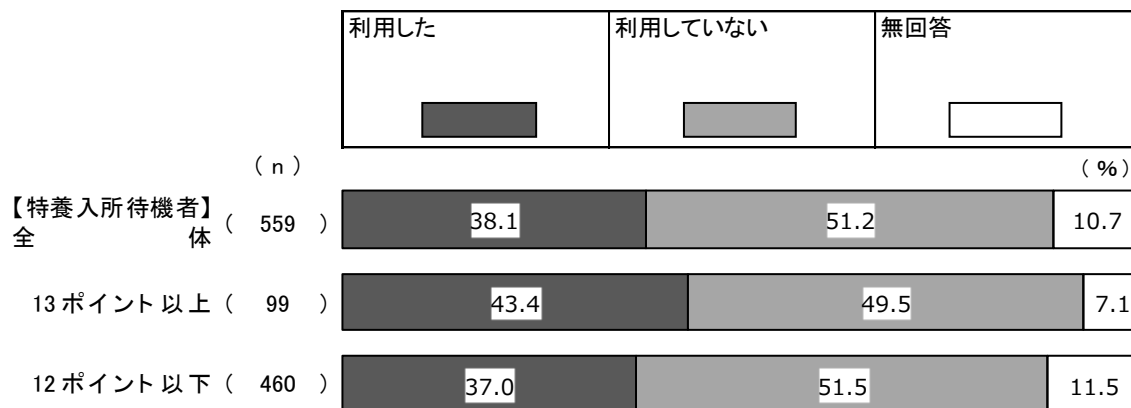


(14) ショートステイの利用状況

① 過去1年間のショートステイの利用状況

○平成30年12月～令和元年11月の過去1年間にショートステイを「利用した」が38.1%、「利用していない」が51.2%となっている。

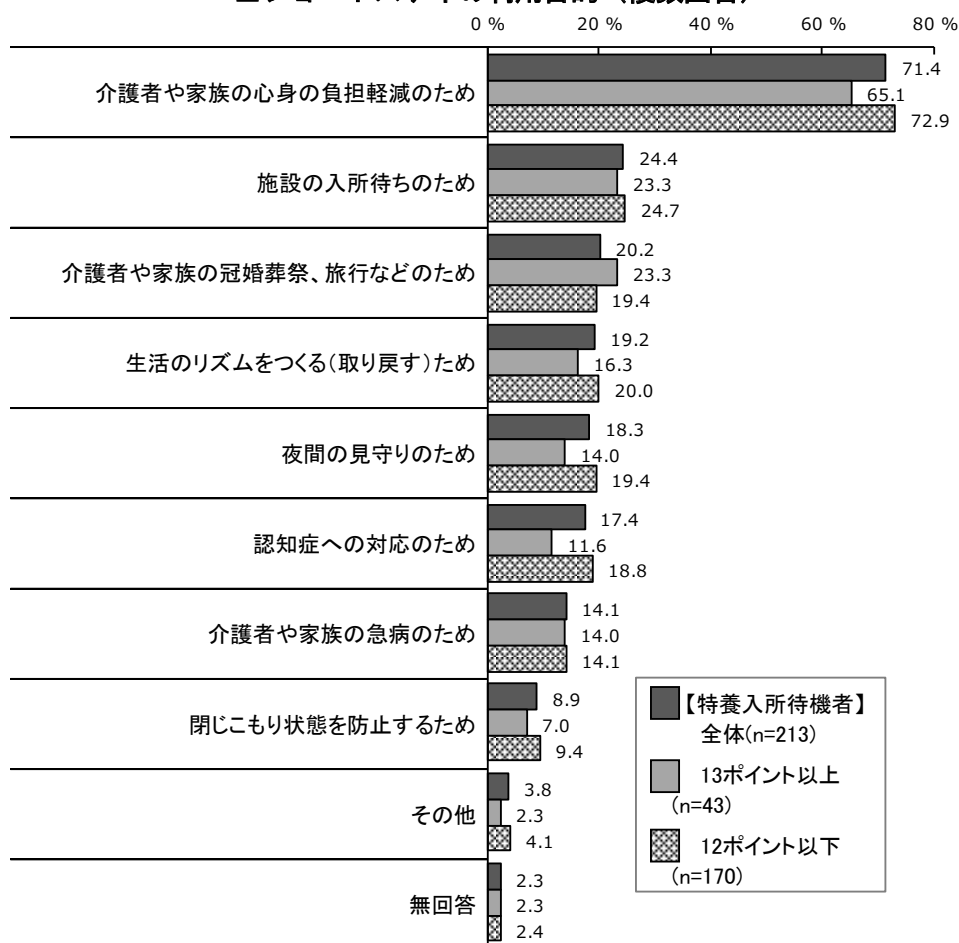
■過去1年間のショートステイの利用状況



② ショートステイの利用目的

○“過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の利用目的は、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」が71.4%で最も高い。

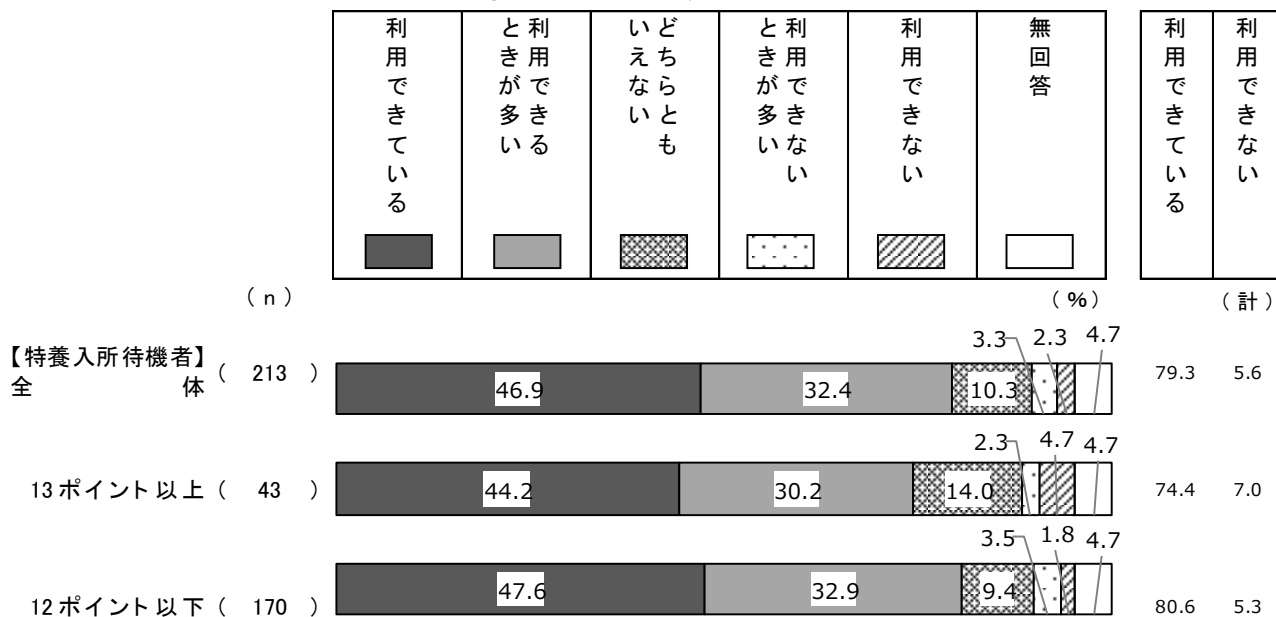
■ショートステイの利用目的（複数回答）



③ 希望している時期の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望している時期の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が79.3%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）を大きく上回っている。

■希望している時期の利用状況



④ 希望施設の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望施設の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が79.3%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）を大きく上回っている。

■希望施設の利用状況

